



開校40周年記念行事の開催 11/20(火)



この度、朝行事で、開校40周年を祝う記念行事を開催いたしました。本校では、開校の年に創立記念式典を開催した日である、11月20日を開校記念日と定めてあります。そこで、今年40回目の開校記念日を迎えました。

当日は、本校の校歌を作詞なさった12区区長丹羽康博様に来校いただき、開校当時の様子や校歌を作詞した時の思いを全校児童に語っていただきました。

各家庭には、記念誌と記念の航空写真入り下敷きを配布いたしましたので、記念誌を一読していただくと幸いです。

これからも50年、60年、と続くであろう神明小学校が地域の皆さん、そして卒業生やその家族の皆さんに愛され、支えられながら、伝統を積み上げていけることを願います。

2学期指導主事訪問 11/22(木)

教師の授業力向上を目的に、桐生市教育委員会より小島教育研究所所長補佐と石井指導主事の二人の指導助言の先生を迎え、2年2組の永井彩加教諭の代表授業をはじめ、1～5学年、あおぞら学級の授業を中心として、授業研究会を行いました。

今年度本校では、新しく始まった「特別の教科 道徳」について研修を積むことで、今まで行ってきた道徳の授業の質的転換をめざして取り組んでいます。特に、善悪の判断や思いやり、生命の尊さなどの道徳的実践力向上をめざして授業に力を入れ、豊かな心の育成につながるように、全教職員で取り組んでいます。



＜役割演技をした児童にインタビュー＞



＜このときの主人公の気持ちは？＞

いじめ防止集会の実施 11/16(金)

この度、代表委員会が全校児童に、「いじめについて、一人一人にしっかり考えてもらおう」ということで、朝行事で、いじめ防止集会を開催しました。

この集会は、本校にも「いじめ防止基本方針」がありますが、その基になっている「群馬県いじめ防止基本方針」が昨年度改定になり、けんかやふざけ合いであっても、子供が感じる被害性に着目して、いじめを判断することが強調されることになったため、もう一度いじめについて考える機会にする目的で行いました。

当日は、①友達と戦いごっこをしていて、一人が一方的にたたかれ、「やめてよ」と言っても止めない例。②挨拶ただけで、その子をバカにするような言葉を浴びせ、「やめてよ」と言っても止めず、周りもそれを止められない例。といった二つの例を代表委員が劇化して見せ、全校児童に感想を発表させました。

また、集会後各教室に戻り、下のポスターに書かれた「ぼくが傘になる」とはどういうことを学級ごと



に話し合いました。

子供たちからは、「友達が困っていたら、助けてあげる」「友達をいじめたりしないで、やさしくしてあげる」等の意見が出されました。

今回、全校児童にいじめについてしっかり考えてもらいましたが、つい何気なく友達を傷つけてしまうということも今後あるかもしれません。学校では繰り返し指導していかなければならないことだと思います。お子さんに気になる様子が見られましたら、担任に連絡を取り学校の様子を聞くとよいと思います。学校と家庭で連携を密にして、子供たちを守っていきたいと思います。

平成30年度のいじめ防止に向けた取り組み

スローガン「**ぼくが傘になる**」

仲間が困っていること、悩んでいることに気付き、支え合うための「人間関係づくり」に力を入れます。

- ♥自分がいじめられたり、物事がうまくいかなかったりして、落ち込んでいるときに、人に相談できる「人間関係づくり」
- ♥友達の心が傷ついているとき、友達の気持ちを受け止めたり、信頼できる大人につないだりできる「人間関係づくり」

↓

「いじめ防止フォーラム」の中で、**人間関係づくりについて学ぶプログラム**を取り入れます。

いじめ防止活動実施中
ぼくが傘になる
いじめ防止活動実施中
勇気・思いやり・協力
平成30年度いじめ防止ポスター

桐生みどり地区学校警察連絡協議会善行児童生徒表彰

19日(月)市民文化会館で行われた表彰式で、6年生の加藤ゆいさんと清水颯太くんが表彰されました。

この表彰式は、友達の模範となる行動等について桐生市とみどり市の小・中・高等学校、特別支援学校の各代表児童生徒が表彰されるもので、二人は児童会活動等で中心となって活躍したことが認められての受賞でした。

